

## 平成30年度 開放病床運営委員会の開催



泌尿器科南秀朗医師による発表の様子

昨年度は開放病床運営委員会の日程が豪雪と重なってしまい、中止となっていました。今年度は1月24日（木）に無事開催できました。

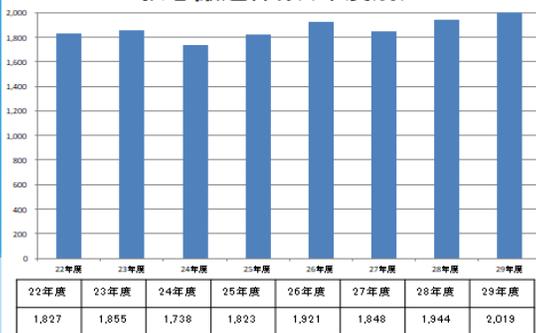
今回の開放病床運営委員会より新しい試みとして、当院医師による取り組みの発表を行いました。1つ目の発表は泌尿器科南秀朗医師による「当院におけるロボット支援手術の現状と能登地域におけるPSA検診の状況」であり、

男性のがんで最も多い前立腺がんにおいてのPSA検診の有用性などについて話されました。2つ目の発表は外科杉田浩章医師による「ヘルニア手術の最前線」であり、杉田医師の手術動画なども見ながら、ヘルニア手術について話されました。

委員会の後半は、能登病院全体の患者数、救急搬送数や紹介率などといった実績について報告しました。地域の先生方からは、救急搬送が増加していることから、軽症患者が救急車をタクシーのように利用する場合の対応など様々な視点でのご意見を多くいただきました。

今後とも当院が地域の先生方とよりよい医療連携を行っていくためにも開放病床を含め、地域の先生方を選んでもらえるような病院を目指します。

救急搬送件数（年度別）



## EOLケアPPT研修会開催

平成30年12月5日（水）「人生の最期をどう迎えるか」本人の意思決定を支えるために」を開催しました。福井県オレンジホームケアクリニック副院長の西出真悟氏をお招きし、ACPを含めた人生の最終段階における意思決定支援について講演していただきました。

ACP（アドバンスドケアプランニング）とは、「将来の意思決定能力の低下に備えて、医療及びケアについて、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセス」を指しています。講師の西出氏からは、「在宅医療現場での実践や、厚生労働省で携わった意思決定支援の取り組みを踏まえて、医療・介護現場において、本人の意思決定をどう支えていくのかについて分かりやすくご講演いただきました。

講演の中において、医療・ケアの意思決定について「人の想いは変化するもの。一度決めても変わっても良い」と、医療・介護現場において繰り返し話し合いを継続していくことの大切さを話されていたこと。また、厚生労働省において、ACPの愛称を「人生会議」とすることが決まり、人生の最終段階をどのように「生きる」かを話し合える仕組みづくりが求められているという話が印象的でした。



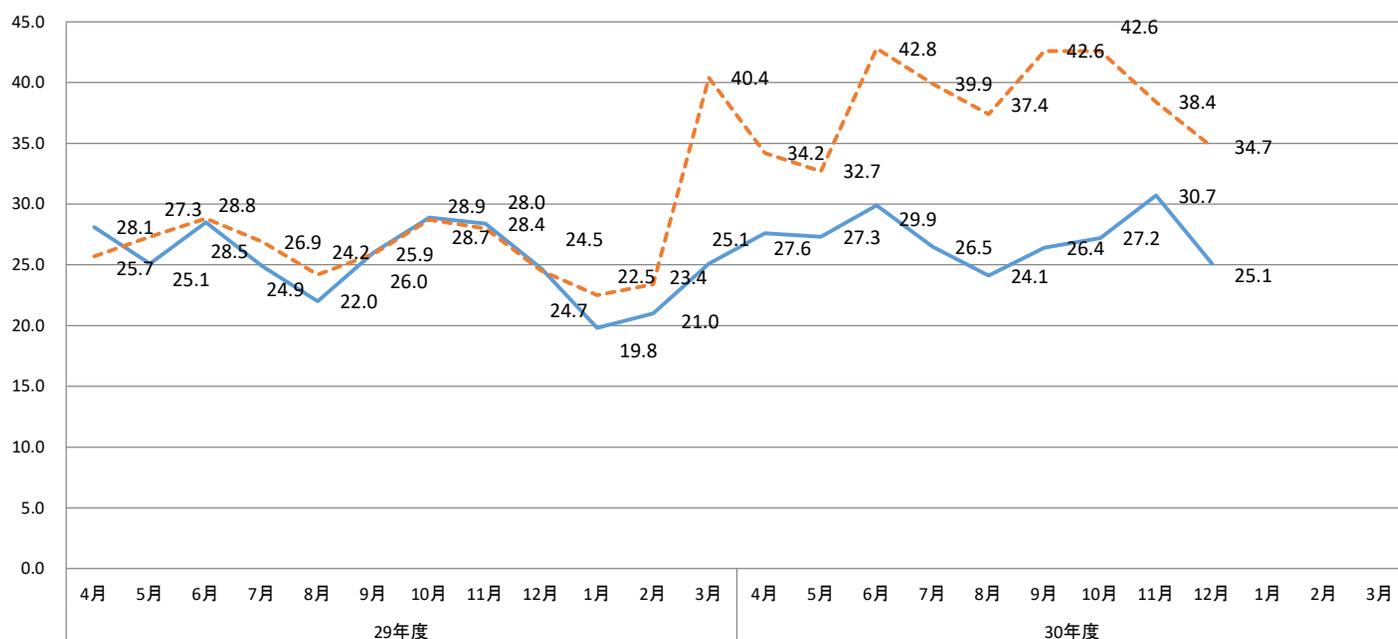
オレンジホームケアクリニック(福井県)副院長 西出真悟氏



平成30年12月5日(水) EOLケアPPT研修会の様子

## 紹介率・逆紹介率の実績報告

棒線: 紹介率 点線: 逆紹介率



### 高額医療機器共同利用件数

	9月	10月	11月	12月
CT	30	39	27	27
MRI	10	15	13	10
内視鏡	3	4	4	3
NCV	0	1	2	0
その他	0	2	1	0
合計	43	61	47	40

MRI検査につきましては、ご予約が取り難い状況が続いております。ご利用くださいます先生方にはご不便をお掛けして申し訳ございませんが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

### 外来診療のお知らせ

当院では午後の診療については、一部の診療科・曜日を除いて、原則行っておりません。

ただし、病状等により翌朝まで様子を見るのが難しい患者さまについては、救急外来で一旦診察を行い、必要に応じて各科に振り分けています。そのため、午後の診療については、担当医の指定はできかねますのでご了承ください。

また、午後にご紹介の際はお手数ですが、地域連携までご連絡下さいますようお願いいたします。

### ドクターヘリによる救急患者の受け入れがありました。

平成30年9月24日より石川県内でのドクターヘリの運航が開始されています。基地病院は石川県立中央病院ですが、当院にもドクターヘリによる救急搬送が5件ありました。(平成30年12月末時点)

運航開始2ヶ月の時点では全体で26件の搬送が行われています。

ドクターヘリの運航については、医療機関や一般市民から直接依頼できるものではなく、119番通報をした先の消防本部が判断し、基地病院に出動要請する流れとなっています。

当院は3次救急病院として今後もドクターヘリの受け入れに協力してまいります。

【当院受入患者】 脳梗塞2件、脳出血1件、意識障害1件、切創1件